

「夢を見て 夢を追いかけ 夢を食う」



塩之入 永子き

懐かしい思い出話をお話します。
「夢を見て 夢を追いかけ 夢を食う」
この言葉をコーチと二人の合言葉にして、
「いつかは全国へ」から「必ず全国へ」
と目標を切り替え、年明け早々から東京、

埼玉、千葉、京都、滋賀へと遠征を重ね、怪我もなく故障者も出ず、順調に仕上がってくれた子供達がありました。

監督を受けて七年、県大会出場が目標だったチームを全国目標のチームに作り上げ、練習時間の設定、遠征に伴う金銭的な親の負担、そして自分自身の体力との戦い、試行錯誤の毎日でした。

当時のDonは毎日忙しく、土曜日京都遠征だと出発するのは朝3時、金曜日のお店は1時まで。寝たか寝ないかのうちに出発、車の中で戦術戦略の打ち合わせでした。

そして平成20年7月6日、全国をかけた県大会。いよいよ来たかという思いの一日が始まりました。一回戦二回戦を順調に勝ち上がり「みらくる」というチームとの決勝戦、ベンチの指示も必要ないくらい元気にコートを走り回り、21：12、21：15のストレートで勝利し、念願の、いや悲願の全国への切符を手にする事が出来ました。小さな体に親の夢、チームの夢を背負って頑張ってくれた子供達に“あっぱれ”をあげたいですね。



胸上げされる塩之入監督



2008年(平成20年) 8月12日～15日東京体育館

余談ですが、この時、上田市に「駅前ビルに垂れ幕を掲示して欲しい」とご相談しました。垂れ幕は自前で製

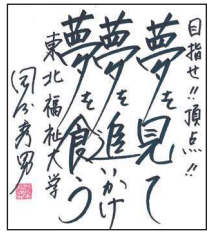
作する(まあ、これは仕方がない…)に加えて、毎日の掲示料金がかかるというお話にびっくり。ちょうどその日、上田市長と小田中さんがお店にいらしたので、「どういふことよ!」と強めに苦情を申し上げたところ、掲示料金は免除になりました。母袋さん、有難うございました。

そして私にとっては監督ラストイヤーの年、もう一度全国へと頑張っていた矢先、「小布施」チームに横浜から162cmの双子の姉妹が転校してきました。こちらのエースは152cm、相手になりませんでした。

でも、落ち込んでばかりはいられません。すぐに目標を北信越優勝に切り替え、大会が上田で行われ、卒団生の大応援団のもと、見事に優勝してくれました。



全国大会 塩之入監督と子ども達



何百人の子供を育て、くれた子が一人もいなかった事が私の誇りです。お盆と12月30日、各地から子供達が集まり、バレー談義に花を咲かせ、楽しい時間を作ってくれています。その時、皆が声をそろえて言います「上田ジュニアの練習が、中学・高校の練習より一番きつかった!!」と。

ここにいる若い経営者・会社トップの方々、情熱と執念を持ち、夢をみて、夢を追いかけ、夢を食うまで、大いに戦って下さい。



例 会 日 誌 9月11日(水) 晴れ 2024～2025 No.9

- 司 会 母袋創一君
- 友 愛 賞 蓑輪佳明君(山本君よりお菓子)
- 斉 唱 「それでこそロータリー」
- 遠藤隆幸君(合唱サークル「コール・ウエルク」よりお土産)
- ラッキー賞 手塚たつ子き (季節のアレンジ花)
- 竹内君「全国親睦合唱祭参加で東京へ行って参りました」



■会長挨拶

渡辺 敏成 会長



先日びっくりするようなワードを見ました。「静かなる退職」というのがそれで、キャリアアップや昇進などを目指さずに必要最低限の仕事をこなす働き方のこと。ただし、実際に退職をするわけではなく、退職が決まった従業員のような余裕をもった精神状態で働くことを指しているとのこと。これは仕事とプライベートの境界をしっかりと分け、ワークライフバランスを重視する働き方といわれています。平坦に言えば、与えられた仕事のみを粛々とこなし、充実感を求めることもなく、もちろん昇進してさらなる仕事量が増えることを嫌っているのです。この傾向はますます顕著になり、新しいことにはチャレンジせずできるだけ仕事は回ってこないように立ち回り、徐々に職場内で立ち位置を下げて楽をして日々過ごす。しかし会社はなかなかクビにすることができないのを承知している。これが若者の新しい「勝ち組」と考えられているようです。

この「静かなる退職」の原因には、労働に対する価値観の相違や「なかなか働いても報われない」という環境があると指摘されています。識者によれば対策として人事評価制度の見直しやインセンティブの充実と書かれています。営業職などと異なり数字のみでは判断できない業種では実際のところ人事評価はうまくいきません。当院でも行って見たことがあるのですが、人物像や業務態度などは評価する人と日時により大きく異なります。また、インセンティブをあげることも対応策ですが、人事評価があいまいの上、昨今のステルス増税が続くこの国ではインセンティブのまゝに事業が潰れます。

ただ、若い職員などを見ていると上げ膳・据え膳が当たり前で、わからないことはスマホで検索といった感じで、脳みその稼働率がかなり悪いように思います。長年の教育の賜物ですが、これではAIの活用以外、労働生産率が上がるはずはありませんね。

■幹事報告

工藤 恒 幹事



- ・9月レート 1\$=145円 (←154円)
- ・R文庫より2023-24年度の決算報告。
- ・地区より「ガバナーエレクト、次期幹事研修」のご案内。

10月6日(日) キッセイ文化ホール
13:00~16:30

・会報恵送：松本南ロータリークラブより

■次期幹事候補者、倉島博君を紹介

例会前の理事会において、倉島博君が次期幹事候補者として承認され、山寺会長エレクトより紹介されました。



11月の指名委員会を経て12月の年次総会で正式に決定となります。

地区でも次年度の準備がスタートし、まずは10月6日開催の「会長エレクト・次期幹事セミナー」のご案内が届いています。

■出席報告

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	52	47	14	—	70.21%
前々回	52	46	14	9	89.13%

ニコニコBOX (敬称略)

飯島(裕)、上原、遠藤、工藤、久保、倉島、神津、後藤、小林、佐藤、塩之入、春原、関、滝澤、竹花、玉井、田守塚田、手塚(た)、浜野、増田、蓑輪、母袋(創)、柳澤亨、柳澤誠、山寺、山本、渡辺

※渡辺敏成君/塩之入さん今日の天気の様子が暑い(熱い)スピーチよろしくお祈りします。

※工藤 恒君/RCの合唱祭、来年は京都です。皆さん、ご一緒しましょう。塩之入監督、卓話よろしくお祈りします!!

※母袋創一君/塩之入さん、かつてのパレースパルタ指導?のお話を聞かせて下さい。

※滝澤修一君/全日本ロータリー親睦合唱祭に参加してきました。盛会でしたし楽しかったです。

※田守正彦君/増田さんの友愛賞、会社で開けたら、あっという間に無くなってしまいました。

※浜野浩孝君/誕生日祝いを頂き、有難うございます。一日一日健康に過ごしてまいります。

※手塚たつ子さん/渡辺年度、はじめての出勤です。

本日の金額/37,000円 累計/373,010円

●合唱サークル、全国親睦合唱祭in東京に参加

当クラブには合唱サークルがあります。その名もコール・UEREC(ウエルク)。メンバーは竹内団長をはじめ会員6名、ご家族他が7名です。毎年各地で開催される全国親睦合唱祭参加を目指し、月2回の練習を楽しんでいます。9月7日(土)東京の紀尾井ホールで開催された第27回全国親睦合唱祭に参加して参りました。盛大な懇親会も楽しいひとときでした。来年は6月に京都で。メンバー大募集中です。是非一緒に!

